

第2回日本精神薬学会総会・学術集会

「基礎と臨床知識から薬を使い育てる精神科薬剤師：
多職種との相互理解を深める」

平成30(2018)年9月15日(土)、16日(日)の両日、名城大学八事キャンパス薬学部(名古屋市天白区八事山150)にて、「第2回日本精神薬学会総会・学術集会」を開催することとなりました。本会では、テーマを「基礎と臨床知識から薬を使い育てる精神科薬剤師：多職種との相互理解を深める」とさせていただきました。テーマには、臨床・基礎・社会医学の領域で活躍中の専門家を招聘して討論し、精神科薬剤師の職能発展と精神科医療の向上に貢献することを目指すこと、脳とこころに関する研究・臨床・教育の最前線に臨むこと、他の職種や地域の薬剤師との協働という、様々な意味での「相互理解」と「連携」への期待が込められています。意義ある会となりますよう、準備を進めておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

期日：2018年9月15日(土)～16日(日)

会場：名城大学八事キャンパス薬学部

〒468-8503 愛知県名古屋市天白区八事山150

会長：野田 幸裕(名城大学薬学部 病態解析学I)

URL：<http://k-con.co.jp/jspp2018nagoya/>

主催：一般社団法人 日本精神薬学会

※日本薬剤師研修センター、日病薬病院薬学認定薬剤師、および日本病院薬剤師会
精神科薬物療法認定薬剤師の認定薬剤師制度を予定しております

<プログラム>

○特別講演

ドパミン過感受性精神病の病態から治療まで：治療抵抗性の克服

千葉大学大学院医学研究院

教授 伊豫 雅臣 先生

治療抵抗性統合失調症のリカバリー

藤田保健衛生大学医学部

教授 岩田 仲生 先生

○教育講演

境界性パーソナリティ障害を知り、対応を考える：過量服用や脱抑制を考えた処方を含めて

名古屋大学大学院医学系研究科

教授 尾崎 紀夫 先生

精神科薬剤師に期待すること

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科

客員教授 鍋島 俊隆 先生

○シンポジウム

精神科以外の他領域(老年・がん・妊婦・小児など)における向精神薬の適正使用

睡眠障害を知って適切な治療を考える

精神科薬剤師による臨床・教育・研究

統合失調症薬物治療ガイドラインの使い方

地域移行における精神科薬剤師の役割 part2 ～それぞれの立場・それぞれの役割～

○ワークショップ

向精神薬の減薬・減量ガイドライン構築のためのワークショップ

精神疾患患者さんの声を聞こう!～偏見をなくすために～

陽性・陰性症状評価尺度(PANSS)トレーニング

講師：堀 輝 先生(産業医科大学医学部)

○一般演題：口演発表、ポスター発表

一般演題登録：2018年4月24日（火）～6月15日（金）

事前参加登録：2018年5月7日（月）～7月31日（火）

参加費：正会員：事前 8,000円 当日 10,000円

※ 社会人学生の学生会員は、正会員の参加費とします。

非会員：事前 12,000円 当日 15,000円

学生会員：事前 3,000円 当日 5,000円

学生非会員：事前 5,000円 当日 8,000円

懇親会： 6,000円 会場：サーウィンストーンホテル（定員あり）

問い合わせ：第2回日本精神薬学会総会・学術集会 事務局

名城大学薬学部病態解析学Ⅰ 吉見 陽

〒468-8503 名古屋市天白区八事山150

TEL：052-741-6022 FAX：052-741-6023

E-mail：jspp2018-office@umin.ac.jp